

海風

UMIKAZE

2025
Vol. 37

Chiba-Minato Rehabilitation Hospital Report

Contents

- 2P 足湯・かえる探し
- 3P 園芸活動・行事食
- 4P 医療安全研修・レスキューキャリーマット訓練
- 5P 3Dプリンター
- 6P 医療連携会・心の交流会
- 7P 腰痛予防になる体操・ストレッチ



一般社団法人 巨樹の会

千葉みなとリハビリテーション病院



病院紹介動画

千葉公園の犬賀ハス(古代ハス) 撮影:総務課 吉田

足湯イベント

当院では、5階の屋外ガーデンにある浴槽にて足湯イベントを定期的に行っています。今年は5月13日～15日の3日間行いました。ふくらはぎは、第二の心臓と呼ばれていますが、足湯で温められた血液がふくらはぎから全身へと循環し、身体全体が温まります。それによって、緊張した筋肉がほぐれることで心身ともにリラックスした状態に導いてくれます。患者様も「よい気持ち」「足湯なんて初めてだわ」と笑顔とお声をいただきました。今後もリハビリを頑張っていけるように、息抜きとなるイベントを行っていこうと思います。

リハビリテーション科 T・O



リハビリ室にかえるのイラストを複数枚貼り、セラピストと一緒に探していただくかえる探しイベントを行いました。このかえるは事前に患者様に色を塗っていただいたオリジナルです。

歩く練習や注意力を高めつつ、楽しみながら様々な場所に隠れているかえるを探していただくことができました。また、正解した方には、粗品を贈呈しました。引き続き、リハビリを楽しみながら入院生活を送っていただけるよう、様々なイベントを企画していこうと思います。

リハビリテーション科 T・O



園芸活動

梅雨に入り、草木が華やかな季節となりました。園芸委員会では、毎年5月～6月に夏野菜や花を植えています。今年も、園芸活動がお好きな患者様の協力もあり、無事に植えることができました。すでにひまわりや朝顔は、20cm程度まで成長してきています。開花まで水やりをかかさずに行っていきます。野菜は大きくなったら患者様と収穫し、包丁操作の練習として使用する予定です。これから暑い季節が続きますが、園芸スタッフ・患者様の協力も得ながらリハビリガーデンを盛り上げていきたいと思っています。

リハビリテーション科 S・T



6月26日に行事食を実施致しました。「病院食に外食らしさを」をテーマに定番の中華メニューを提供し、美味しかった!とのお声を多数いただきました。患者様のお声を基に、今後も様々な行事食を検討していきます。



令和7年度

第1回 医療安全研修

令和6年度 インシデント集計から学ぶ医療安全

令和7年5月22日及び5月30日に、病院職員対象に「医療安全研修」を開催しました。テーマは「令和6年度インシデント集計から学ぶ医療安全」。

研修目的はデータから見える課題とインシデントの要因、対策を学ぶことで職員の医療安全に対する意識の向上と実践力強化を図ることです。

研修内容は①令和6年度の患者状況～過去5年間からの比較～②インシデントデータ・内容③ミスのメカニズムとエラー対策④当院での事故防止対策です。

研修後のアンケートでは「忙しい時間帯ほど確認などの基本を疎かにしない」「転倒が発生しやすい時間帯と対策が分かった」「コミュニケーションと連携が大切」など、業務に役立つとの感想が多くありました。

医療安全に近道はありません。一つ一つの業務を丁寧に確実に行うことを心掛け、患者様に安心・安全な医療を提供できるよう職員一同よりいっそう連携を強化してまいります。

医療安全担当看護師 K.Y

患者確認を確実に行う



目的

令和6年度に発生したインシデント内容、傾向と対策を学び、日頃の安全対策に反映させる。

研修項目

1. 令和6年度の患者状況～過去5年間からの比較～
2. インシデントデータ・内容
3. ミスのメカニズムとエラー対策
4. 当院での事故防止対策

うっかりミスを起こす失敗



レスキュー キャリー マット 訓練

令和7年5月19日から6月6日までの間、看護部教育委員会が主催し、看護師・看護補助者・セラピスト・ソーシャルワーカー・クラークの合計約180名を対象としたレスキューキャリーマット訓練を行いました。

研修では、アクションカードの使用方法や救護区分と搬送時の優先順位などを説明し、実際に患者役・搬送者役となり、レスキューキャリーマットの使用訓練を行いました。参加者からは、「いざという時、冷静に行いたい。」と意欲的な声が聞かれました。

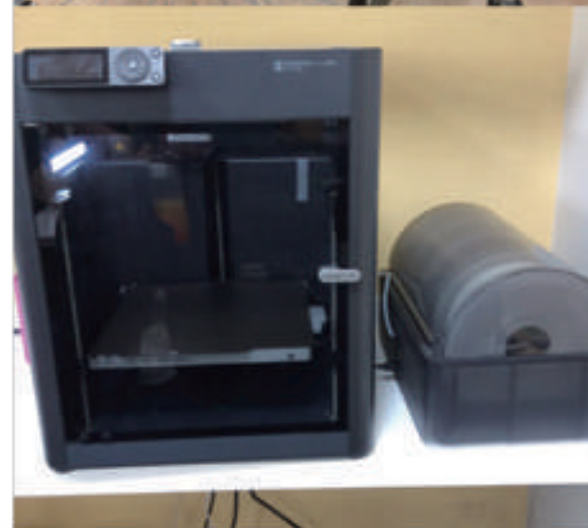
本研修は、院内の防災訓練前後で年間2回実施しています。災害訓練を反復することで、患者様や自分自身の安心・安全を守るよう、知識の定着を図り、いざというときに実践できるように今後も継続して取り組んでいきたいと思ひます。

看護部教育委員会委員長 S.A



3Dプリンター

ADDITIVE MANUFACTURING



当院ではこの度、3Dプリンターを導入致しました。

3Dプリンターとは、3次元データを元に断面形状をフィラメントと呼ばれるひも状の樹脂を積層し、作成したい物品を立体造形することができる機械を総称したものです。

データを編集することでサイズや強度など、患者様1人1人の用途に合わせた物品や専用の補助具を作成でき、今まで以上に当院での日常生活や退院後の生活・動作の自立に向けた環境調整が期待できます。

例として、車椅子のブレーキ操作がご自身では困難な患者様に車椅子ブレーキの延長バーを作成したことにより、ご自身のブレーキ操作が可能となり、病棟での患者様の車椅子移動が自立となりました。

今後は、患者様だけではなく家族様のご要望などにもお応えできるよう、さらなる体制を整えていきたいと考えています。何かご要望等ございましたらお気軽にスタッフまでお声掛けいただきますようお願い申し上げます。

リハビリテーション科 K・M



医療連携会

6月18日に国立病院機構千葉医療センター様との医療連携懇談会を開催しました。

院長・副院長の交代に伴うご挨拶と実績報告をはじめ、患者様の経過について看護部・リハビリテーション科より報告を行いました。終了後には多職種での意見交換もでき、それぞれの病院の現状についてや日ごろ連携していく中での話をできる良い機会となりました。

ご指摘ご助言を鑑み、今後もより良い“顔の見える連携”ができるよう取り組んでまいりたいと思います。

医療連携室 H・Y

心の交流会

当院では退院された患者様・家族様を対象に、講話・座談会で交流を図る「心の交流会」を実施しています。病院職員と患者様・家族様が集う場を設けることで、お互いの経験や情報を共有し、退院後もサポートしていくことを目的としています。第3回は「転倒予防について」、第4回は「装具について～セルフチェックをしていますか～」という内容で講話、座談会を実施しました。

第3回では、転倒しやすい場所や部位についての講義や、実際に行える転倒予防の体操を実施しました。第4回では、対面だけでなくオンラインを利用し開催しました。

基本的には対面での交流を実施していきますが、今後も機会があればオンラインでの開催も検討していきたいと考えています。

8月以降も様々なテーマを考えていますので、是非参加していただければ幸いです。

リハビリテーション科 A・N



腰痛予防になる体操・ストレッチ

効果 柔軟性向上 血流改善 筋肉が原因の疼痛改善

1 大殿筋のストレッチ

座った状態で片方の脚を組み、膝を下に手で押していきます。



※胸を張って背中が丸まらないようにしましょう。

2 腸腰筋のストレッチ

膝立ちをして片方の脚を前方に出します。後ろ側の股関節周囲を伸ばしていきます。



※体が前に傾きすぎないようにしましょう。脚は広めに開くと行いやすいです。

3 ハムストリングスのストレッチ

仰向けになって片方の脚を天井に向かって挙げていきます。太もも裏を手で持ち伸ばしていきます。長めのタオルを脚に引っかける方法もあります。



4 腹式呼吸

仰向けになって膝を立てます。鼻から息を吸って口から息を吐きます。吸ったときに腹部を膨らませ、吐くときに腹部を凹ませます。一回に5秒程度かけて実施すると良いでしょう。



※背中が反らないように注意しましょう。

5 ブリッチ

仰向けになって膝を立てます。踵を膝の下まで引きお尻を上げます。



※腰を反ってお尻を上げないように注意しましょう。お尻が床から離れれば無理に上げなくても構いません。

POINT

全ての体操、ストレッチに共通して姿勢が大切です。無理に動きを出そうとせず正しい動作を意識して行いましょう。



一般社団法人 巨樹の会
新字都宮リハビリテーション病院
 〒321-0941
 栃木県宇都宮市東今泉2丁目5番31号
 TEL:028-666-4880
 ■ 新字都宮リハビリテーション病院HP
<https://shin-utsunomiya.jp/>



社会医療法人社団 埼玉巨樹の会
所沢美原総合病院
 〒359-0045
 埼玉県所沢市美原町2-2934-3
 TEL:04-2997-8199
 ■ 所沢美原総合病院HP <https://tmgh.jp/>



病院紹介の動画 を作成しました!!



この度当院の紹介の動画をYouTubeに作成しました。
 今年度も感染対策の続く中、少しでも院内の様子を見て頂くとともに、入院前の事前見学や看護・リハビリの学生の就職活動のお役に立てれば幸いです。



病院 理念

手には技術
 頭には知識
 患者様には愛を

千葉みなとリハビリテーション病院 広報誌

海風 Vol.37

令和7 8月発行

企画・発行所 千葉みなとリハビリテーション病院 広報委員会

千葉県千葉市中央区中央港1丁目17番18号
 TEL: 043-245-1555 / FAX: 043-245-1558



駐車場に限りがございますので公共交通機関のご利用をお願いします。

- 電車 千葉みなと駅(JR京葉線 千葉都市モノレール)より徒歩10分
- バス 千葉駅西口・千葉ポートタワー行26番のりば「東立美術館入口下車」